

令和3年第1回定例会

市長施政方針に対する代表質問通告一覧表

会派名(氏名)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 自由民主党 (木下 富雄)	1	総括として	<p>① 令和3年度の市政運営について</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束しない中、少子高齢化や人口減少がさらに進展し、市を取り巻く状況は一段と厳しくなることが見込まれている。このような令和3年度において、市が最も力を入れて取り組むことは何か伺う。</p>
	2	重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症の感染対策について</p> <p>ア 感染症から市民の生命と健康を守るためには、有効なワクチンの接種が必要であるが、接種を進めるに当たっての主な課題は何か。</p> <p>イ PCRセンターの運営に関する現状と課題を伺う。</p> <p>② 子ども・子育て支援施策の充実について</p> <p>ア 「子ども・子育て憲章」の周知・啓発を効果的に図るとありますが、どのように取り組んでいくのか具体的に伺う。</p> <p>イ 初めての学校内学童保育所として、第三小学校内に学童保育所を設置し、放課後子ども教室と連携しながら事業を実施するとあるが具体的な内容を伺う。</p> <p>③ 教育施策の充実について</p> <p>ア GIGAスクール構想に基づき、児童・生徒の学びの充実を図るため、ICT支援員を配置するとあるがその内容と期待される効果は何か伺う。</p> <p>イ 旧日立航空機株式会社変電所の保存改修工事を完了し、一般公開の拡充を図るとあるが、今後の変電所の活用方法を伺う。また、ふるさと納税の今後の活用についても伺う。</p> <p>④ 健康・福祉施策の充実について</p> <p>ア 「シニアが活躍できるまち」を目指し、市はシニア層に具体的にどのような支援を行っているのか伺う。</p> <p>イ 産官学民が連携する「快腸プロジェクト」について、具体的な内容と期待される効果を伺う。</p>
	3	重要施策以外の主な施策について	<p>① 「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」について</p> <p>ア 障害者スポーツ及びニュースポーツの体験会の実施とあるがその目的と内容について伺う。</p> <p>② 「健康であたたかい心のかよいあうまちづくり」について</p> <p>ア 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施によるフレイル対策とあるが、その内容と見込まれる効果について伺う。</p> <p>③ 「暮らしと産業が調和した活力あるまちづくり」について</p>

(自由民主党)			<p>ア 新型コロナウイルス感染症対策を講じた観光事業の推進とあるが実施予定事業と感染症対策の内容について伺う。</p> <p>④ 「環境にやさしく安全で快適なまちづくり」について</p> <p>ア コミュニティバスについては、高齢者や、身近な交通手段がない地域においては貴重なものであるが、持続可能なものとするための取り組みとは、具体的にどのようなことを検討するのか伺う。</p> <p>イ 地域防災力の向上として、「国土強靱化地域計画」の策定とあるが計画の概要と策定する効果について伺う。</p> <p>ウ 防犯対策として、新たな防犯カメラの設置とあるが、想定している設置場所や設置時期について伺う。</p> <p>⑤ 「相互の理解と協力に支えられるまちづくり」について</p> <p>ア 行政事務のデジタル化について、具体的な取組内容とその効果について伺う。</p> <p>⑥ 「適正な行財政運営の実現」について</p> <p>ア 公共施設等のあり方については、総量の縮減や配置の適正化について検討を進めるとありますが、令和3年度においてどのような検討をどこまで進めるのか伺う。</p> <p>① 厳しい財政状況が見込まれる中、健全な財政運営を維持するための取り組みについて伺う。</p>
2. 公明党 (東口 正美)	1	市長が示された重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>ア 東大和市医師会とのこれまでの連携・協力と今後の連携について</p> <p>イ 在宅要介護者受入事業の具体的な内容について</p> <p>ウ コロナ禍での生活困窮者への支援について</p> <p>エ テレワークやWEB会議等、行政のデジタル化の取組とそのための人材登用について</p> <p>② 「子ども・子育て支援施策の充実」について</p> <p>ア 保育園の施設整備の詳細、待機児童解消の見込み、保育士の確保の状況について</p> <p>イ すこやか病児・病後児保育室の施設整備について</p> <p>ウ 学校内学童保育所の内容と放課後子ども教室との連携及びランドセル来館等の具体的な内容について</p> <p>エ 学童保育の民間委託の評価を踏まえた令和3年度の取組について</p> <p>オ 施設型ショートステイ事業の内容と期待される効果について</p> <p>カ 子育てひろばの充実に関する具体的な内容について</p> <p>③ 「教育施策の充実」について</p> <p>ア G I G Aスクール構想における環境整備の内容や教育活動での活用方法、I C T支援員の配置と活用や教員の研修等についても伺う。</p> <p>イ 防犯カメラの設置箇所及び個数並びに期待される効果について</p>

<p>(公明党)</p>		<p>ウ 旧日立航空機株式会社変電所の保存改修工事の完了についてと一般公開拡充の内容を伺う。 また、令和3年度における平和市民のつどい及び平和事業の内容について伺う。</p> <p>④ 「健康・福祉施策の充実」について ア 「快腸プロジェクト」で期待される効果について イ 不妊治療の対象者の見込み数及び相談体制について ウ 認知症検診の具体的内容と令和3年度の取組について エ 認知症になっても住み続けられる社会の構築について</p> <p>2 第四次基本計画に沿っての施策について</p> <p>① 「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」について ア 東京街道団地に整備予定の運動広場管理棟の基本設計委託について ② 「健康であたたかい心のかよいあうまちづくり」について ア 後期高齢者医療事業における保健事業と介護予防の一体的なフレイル対策の内容と効果、また、国民健康保険事業との関係性について ③ 「暮らしと産業が調和した活力あるまちづくり」について ア 東京都の補助金等を活用したキャッシュレス決済を利用したポイントバック事業の継続した取組について イ 市内事業者への市独自の支援策について ウ 狭山丘陵を利用した観光事業の推進について ④ 「環境にやさしく安全で快適なまちづくり」について ア 「国土強靱化地域計画」の策定内容について イ 廃棄物減量施策における民間企業との連携事業の実績と令和3年度の取組について ⑤ 「適正な行財政運営の実現」について ア 次期基本計画を東大和市の「SDGs推進計画」と位置づけ、取り組むべきと考えるが、市の考えを伺う。 イ 業務分析結果を踏まえた、組織定員の適正化及び業務の見直し並びに行政のデジタル化についてどのように取り組まれるのか。 ウ 市民が行政サービスのデジタル情報を活用するための講習会の開催や丁寧な窓口での対応について</p> <p>3 日本一子育てしやすいまちづくりの施策について</p> <p>4 市長の令和3年度への決意について</p>	<p>ウ 旧日立航空機株式会社変電所の保存改修工事の完了についてと一般公開拡充の内容を伺う。 また、令和3年度における平和市民のつどい及び平和事業の内容について伺う。</p> <p>④ 「健康・福祉施策の充実」について ア 「快腸プロジェクト」で期待される効果について イ 不妊治療の対象者の見込み数及び相談体制について ウ 認知症検診の具体的内容と令和3年度の取組について エ 認知症になっても住み続けられる社会の構築について</p> <p>① 「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」について ア 東京街道団地に整備予定の運動広場管理棟の基本設計委託について ② 「健康であたたかい心のかよいあうまちづくり」について ア 後期高齢者医療事業における保健事業と介護予防の一体的なフレイル対策の内容と効果、また、国民健康保険事業との関係性について ③ 「暮らしと産業が調和した活力あるまちづくり」について ア 東京都の補助金等を活用したキャッシュレス決済を利用したポイントバック事業の継続した取組について イ 市内事業者への市独自の支援策について ウ 狭山丘陵を利用した観光事業の推進について ④ 「環境にやさしく安全で快適なまちづくり」について ア 「国土強靱化地域計画」の策定内容について イ 廃棄物減量施策における民間企業との連携事業の実績と令和3年度の取組について ⑤ 「適正な行財政運営の実現」について ア 次期基本計画を東大和市の「SDGs推進計画」と位置づけ、取り組むべきと考えるが、市の考えを伺う。 イ 業務分析結果を踏まえた、組織定員の適正化及び業務の見直し並びに行政のデジタル化についてどのように取り組まれるのか。 ウ 市民が行政サービスのデジタル情報を活用するための講習会の開催や丁寧な窓口での対応について</p> <p>① 「特色ある公園の整備」の取組について ② 「子育て世代包括支援センター」の取組について</p> <p>① 施政方針に「感染症の影響は社会の仕組みを変える契機」とあるとおり、社会を変革しながら市民の命と暮らしを守る市長のご決意を伺う。</p>
--------------	--	---	---

3. やまとみどり (床鍋 義博)	1	社会保障の充実について	① 市長は、施政方針の中で国民健康保険事業は、広域化後も厳しい財政運営が続いており、「国民健康保険財政健全化計画」に基づき安定的な事業運営を進めるとありますが、そもそも国民健康保険事業制度そのものに著しい欠陥があると言わざるを得ない状況です。強制的に給与から天引きされ、かつ企業からも保険料を徴収する社会保険と比較すると、加入者の自主的払込みが必要な自営業者等を加入対象としている国民健康保険では、制度的に納付率が低くなり、財政基盤も不安定となりやすいことは明白であります。これまで市区町村が国民健康保険事業の主体であったことが制度上の不備であって、国民健康保険の名のとおり、国が事業の主体となるべきです。この制度の広域化は、一歩進んだとも捉えることもできますが、根本的な解決策ではないとも考えられます。そこで、この制度における市長の認識と、抜本的な解決のために自治体は何をすべきかを伺います。
	2	緑の保全・創出について	① 当市は、都心からもアクセスがよい上に狭山丘陵を中心に豊かな自然が広がっております。この緑の維持管理については、今後も行っていくとのことでしたが、この環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により在宅勤務が増えた都心に通っていた会社員にとっては、理想的な立地と言えます。普段は、豊かな自然環境で仕事をしつつ、いざとなれば都心へも近いという当市の魅力を市外の人々に宣伝することで、より一層緑の重要性が増していくと考えます。この点において市長の考えと戦略について伺います。
	3	防犯対策について	① 平成22年に警視庁が設置した子ども見守りカメラが撤去されることは、大変残念なことであり、かつその撤去理由についても納得できるものではありません。一方、市が独自に見守りカメラを設置していくという方針については賛成をいたしますが、その財政支援について東京都や国に対して求めていくという考えはあるのかどうかを伺います。
	4	共に支えあう地域社会の確立について	① シニア層を含む幅広い世代の協働を支援していくということでしたが、現在市では、そのシニア層の地域活動の拠点でもある公民館等の有料化を検討しているということでもあります。しかし、この有料化については慎重な判断が必要だと考えます。アクセルとブレーキを両方踏むような施策は、昨年行われた新型コロナウイルス感染症における国の対策と同様に良い結果が得られないと考えますが、市長の見解を伺います。 ② ボランティアの支援については、既に文化・教育・福祉関連等においても有能な人材やグループが市内に多数存在しておりますが、その資源を十分活用出来ていない状況下において、単に外部委託するという発想ではなく、東大和市政に積極的に参加していただき、市民と協働して東大和市を個性ある街として発展させることが望ましいのではないかと考えますが、市長の見解を伺います。

<p>4. 日本共産党 (森田 真一)</p>	<p>1</p>	<p>市民の暮らし向きと負担軽減について</p>	<p>① コロナ危機から命と暮らしを守る取り組みに全力を尽くすべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>② 市政運営の基本に据えられるべきは市民の暮らしの実態です。市長は、現下の経済情勢について、昨年までの「緩やかな回復が続く」という見通しを改めて、今回「社会経済への影響も大変危惧される」としました。そうであるならば、市民生活の窮状に見合った大胆な施策の見直しが行われるべきかと思えます。改めて、地域経済の現状と市民の暮らしの実態についての市長の認識を伺います。</p> <p>③ 令和元年10月の消費税率10%増税と今年のコロナ危機による景気後退の影響で、雇用の調整弁とされ、雇止めやシフトを減らされた非正規労働者の方々や自粛と言いながら半強制的に時短営業を求められる飲食店等の自営業者の方々などは、とりわけ大きく暮らしへの影響を受けています。一方で、コロナ禍の下でも一部の大企業や超富裕層に富が集中し、一層、格差が広がっていると指摘されています。その逆進性を避けられない消費税の減税を求める地方自治体から政府へのアクションが必要だと思えますが、いかがですか。</p> <p>④ 令和2年第4回定例会でも、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付等の申請件数は、延べ約1千件、前年度の100倍に増えたことがわかりました。そういった支援からも取りこぼされ、ホームレス生活を余儀なくされた市民の実例も議会で紹介しました。市はこの間、事業者の支援策として、交付金を活用し、キャッシュレス決済を利用した消費活性化事業や中小企業者等応援助成金支給事業などを実施してきました。一方で、キャッシュレス利用が困難な客が多い商店や先行き不透明で融資利用を躊躇する事業者など、それらの施策からこぼれ落ちる事業者も少なくありません。顧客の外出機会の減少で同様に売り上げが落ちているクリーニング店やタクシー事業者からも業種間での不公平を感じる声が聞かれます。市はこうした状況を把握していると思えますが、これらの方々も含め今後どのように市民の暮らしを支えていくのか、市長の見解を伺います。</p> <p>⑤ 市長は、市財政の状況について、これまで以上に厳しい状況が続くことが見込まれるとして行政改革の取り組みと積立基金の確保による持続性と健全性の維持に努めると言われました。今は、市財政の安定の心配より市民の暮らしの心配の方を優先すべき時です。積立金を取り崩してでも市民を守る姿勢が求められると考えますが、いかがですか。</p> <p>⑥ 国は地方財政対策で平成23年度以来「地方一般財源総額実質同水準ルール」を設け財源確保しており、国全体が1年間コロナ危機に見舞われるような状況であっても、令和3年度も引き続き財源を確保していることについて、市の見解を伺います。</p> <p>⑦ 市は、このコロナ危機の下であっても国民健康保険税の6年連続値上げの計画を続行するとして</p>
-----------------------------	----------	--------------------------	---

<p>(日本共産党)</p>			<p>います。40代夫婦片働き、子ども2人、給与収入400万円という世帯を例に比較すれば、市の国保税は来年度値上げが実施されると、協会けんぽの保険料の本人負担額の2.1倍に達します。国の特例基金がある6年間のうちに計画を終わらせるのが加入者にもっとも負担が少ないと言いますが、このコロナ危機で前提が変わっているのではないかと考えます。近隣市の多くがこれまでの計画にかかわらず、値上げを見合わせると判断しています。突出した負担増は、国や都の路線に無批判に追従するものであり、大変危険な姿勢です。自営業者世帯・低所得世帯への支援策という面からも、国保税の値上げ中止、引き下げが必要と考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>⑧ 市は、令和3年度からの第8期介護保険料の値上げを示しています。世田谷区や目黒区では基準額を引き下げて全段階で値下げ、渋谷区では低所得の第1・第2段階に国基準を超えて引き下げ、基準額を据え置きすると報じられています。コロナ危機から市民を守る姿勢を示す必要があるのではないかと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>⑨ 都内で一番高い家庭ごみ有料袋の値下げは、多くの市民の声です。毎年の有料ごみ袋収入2億円のうち、5,000万円ほどを新たなごみ減量施策に回すと説明していたのに、ここ数年は、1,000万円ほどしか使われていません。当初と異なり、必要がないのであれば、税外負担の口実にせず、この際大幅に値下げすべきではないかと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>① 公民館、学校体育館・校庭などの有料化は、市もコロナ危機の下で実施時期を定められないままに今日に至っています。公共施設の有料化は、主権者である市民が学び、成長する機会を遠ざけ、地域社会を支える市民の自主的活動を弱め、地域社会の力を低下させることにつながりかねません。中止すべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>② 国の言いなりに公共施設の2割削減を既定路線として公共施設の縮減を進めれば、大切な市民の共有財産が失われます。頭ごなしに計画を示すのではなく、施設利用者や近隣住民の声に十分耳を傾け、コミュニティーの維持に必要なものは何かを住民とともに考える姿勢が求められていると考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>③ 市は、NTT、東京ガス、東京電力の大企業3社だけに道路占用料を毎年約2,500万円引き下げてきました。独自財源の確保策として緊急に元に戻すべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>① 保育園の待機児童はいまだに解決されず、対策は待ったなしです。コロナ危機の下で、公立保育園の果たす役割が改めて認識されている中、当市でも公立保育園を主軸とした認可保育園の整備を進めるべきと考えます。また、コロナ危機の影響</p>
	<p>2</p>	<p>適正な行財政運営について</p>	
	<p>3</p>	<p>重要施策、主な施策について</p>	

<p>(日本共産党)</p>		<p>を受けている家庭が増えている中、保護者の負担軽減が必要です。幼児教育・保育の無償化によって、新たな保護者負担となった副食費も無償にすべきとも考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>② 学童保育所が民間委託されて1年が経ちましたが、保育の質を維持・向上させるためにどのような取り組みを行っていくのか具体的な方策を伺います。また、第三クラブが第三小学校内に移設されますが、他の学童保育所の小学校内移設について、子どもたちの生活の場としての機能を果たすためには専用施設にすべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>③ 国において小学校への35人学級が導入されることが閣議決定されましたが、個に応じた、きめ細かな授業のためには不十分です。さらなる少人数学級の推進を中学校までの全学年で実施するように、国や東京都に求めるとともに、市独自でも踏み出すべきと考えますが、いかがですか。また、教育環境の悪化を招きかねない小中学校統廃合計画は中止し、少人数学級の推進こそ、最優先すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>④ 教員に変形労働時間制を導入すべきではないと考えますが、いかがですか。</p> <p>⑤ 戦災建造物の保存改修工事などの平和施策を評価します。東大和市も加盟している平和首長会議は、一刻も早く日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するよう求めています。加盟市の市長としての見解を伺います。</p> <p>⑥ 国民の知る権利を保障する図書館への指定管理者制度の導入はなじまないという、総務省や文科省の見解は明快です。図書館協議会の答申を尊重し、直営の下でサービス拡充を図るよう、指定管理者制度は導入しないよう求めますが、いかがですか。</p> <p>⑦ 18歳以下の医療費無料化、75歳以上の半額助成制度創設を求めますが、いかがですか。</p> <p>⑧ 東京街道団地など市内のいくつかの地域では、路線バスはあっても交通の不便を訴える住民が多く、ちょこバスにシルバーパスを使えるようにしてほしい、運賃を100円に戻してほしいという声が聞かれます。なぜそのような声が多いのか、このような地域ではどのような対策が必要と考えているのか、市の見解を伺います。</p> <p>⑨ 日本共産党が求めてきた国有地や都営地の市民のための活用が大きく動き出し、(仮称)東大和市清水一丁目保育園の開園や東京街道団地内の運動広場の計画も進んでおり、前向きな動きを評価します。市有地も含め、必要な福祉施設やスポーツ施設等の整備のためにフル活用するよう求めますが、いかがですか。</p> <p>⑩ 令和3年度の施策の中で、児童・生徒のオリンピック観戦に係る経費として、1,200万円もの予算が計上されています。いまや開催は極めて非現実的なものとなっており、その分を新型コロナウイルス感染症対策に回すべきと考えますが、</p>
----------------	--	--

(日本共産党)			<p>いかがですか。</p> <p>⑪ 自治体行政のデジタル化の推進による個人情報の集積、個人にとって不利益なデータの企業による利活用などの懸念は拭えません。自治体の業務システムの統一・標準化が自治体独自のサービスを抑制し、個人情報保護を後退させ、住民自治・団体自治の侵害になると考えます。行政サービスの向上に必要なのは、対面サービスの向上とも考えますが、市長の見解を伺います。</p>
5. 正和会 (関田 正民)	1	重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症への対策について</p> <p>ア 感染症から市民の生命と健康を守るためにワクチン接種を実施するが、現時点で想定している人的な体制、場所、接種スケジュールについて、また、準備の進捗状況と課題は何か。</p> <p>イ 市が設置したPCRセンターの検査実施状況と課題、また、さらなる検査体制の強化についての考えは</p> <p>ウ 令和3年度に行う内部事務のデジタル化はどのようなものか。また、デジタル化による市民、職員への効果はそれぞれ何か。さらにデジタル化の効果向上において、マイナンバーカードの普及率が影響する場合、普及促進への取組は実施するのか。</p> <p>エ 新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった事業者への支援について、令和3年度における市の考えは</p> <p>② 子ども・子育て支援施策の充実について</p> <p>ア (仮称) 東大和市清水一丁目保育園や南街地域の民間保育園の整備により拡大する定員数と、今後の待機児童の解消の見込みは</p> <p>イ 今年度より導入した民間事業者の学童保育所運営だが、当初、期待していた民間事業者の独自性を活かしたサービス提供についてはどのようなものか。また、今後の学童保育サービスの充実について、市はどのようなことを考えているのか。</p> <p>③ 教育施策の充実について</p> <p>ア G I G Aスクール構想により児童・生徒へ1人1台の端末を整備し、それを活用して学びの充実を図るとのことだが、具体的にはどのような点が充実するのか。また、長年課題となっている学力の向上については、この端末を活用して具体的にどのように図ろうとしているのか。</p> <p>④ 健康・福祉施策の充実について</p> <p>ア 「シニアが活躍できるまち」の実現を目指す取組みのうち、令和3年度に特に力を入れて行う具体的な事業の内容と効果は</p>
	2	重要施策以外の施策について	<p>① スポーツ・レクリエーションの推進について</p> <p>ア 東京街道団地に整備を予定している運動広場の広さと、使用できる競技種目は何か。また、東京都が実施設計を行っているとのことだが、その進捗状況と完成時期を伺う。さらに、管理棟の基本設計は市が行うとのことだが、その管</p>

(正和会)			<p>理棟の広さや設備内容などの概要を伺う。</p> <p>② 防災・防犯体制の推進について</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症の影響で、従前とは違った災害時の避難所の運営が必要と思われるが、その点についての市の準備態勢の現状は。また、具体的に令和3年度にマニュアルを変更する等の予定はあるのか。</p> <p>③ 廃棄物の減量について</p> <p>ア 民間事業者との協働で取り組む廃棄物回収事業を推進していくとのことだが、令和2年度までの実績と効果、令和3年度に予定している新たな取組みは</p> <p>④ 適正な行財政運営の実現について</p> <p>ア 平成31年度から行っている納税管理及び徴収補助等業務委託のこれまでの実績と効果と課題、そして令和3年度の取組目標は</p>
6. 興市会 (大后 治雄)	1	重要施策について	<p>① 新型コロナウイルス感染症の感染対策について</p> <p>ア PCRセンターにおける検査の実施状況と今後の課題を伺う。</p> <p>イ ワクチン接種体制の詳細を伺う。</p> <p>ウ ワクチン接種の予約方法及び接種の流れを伺う。</p> <p>エ 当市で実施するワクチン接種に関する問い合わせに対応するコールセンターの設置時期を伺う。</p> <p>オ 職員の業務継続に関し、内部事務のデジタル化の詳細及び課題を伺う。</p> <p>② 子ども・子育て支援施策の充実について</p> <p>ア 病児・病後児保育室の利用状況及び今後の課題を伺う。</p> <p>イ 初めて学校内に設置される学童保育所の効果と課題を伺う。</p> <p>③ 教育施策の充実について</p> <p>ア GIGAスクール構想の進捗状況及び端末整備のスケジュールを伺う。</p> <p>イ 地域未来塾の利用状況及び課題を伺う。</p> <p>ウ 学校運営協議会の効果及び課題を伺う。</p> <p>エ 郷土文化財の保存・活用に関し、慶性門の保存改修・活用等、今後の課題を伺う。</p> <p>④ 健康・福祉施策の充実について</p> <p>ア 「シニアが活躍できるまち」の実現を目指していくための、コロナ禍におけるシニアの社会参加を支援する取り組みを伺う。</p> <p>イ コロナ禍による外出自粛が招いた、高齢者の「フレイル」・「抑うつ」・「孤立」等のリスクへの対応を伺う。</p> <p>ウ 「健康寿命延伸取組方針アクションプラン」に基づく事業の詳細及び課題を伺う。</p>
7. 無所属 (実川 圭子)	1	重要施策の子ども・子育て支援施策の充実について	<p>① 子育て世帯の生活困窮支援について、必要な家庭が適切に受けられることで、生活の立て直しができるよう、子育て支援関係機関と生活困窮者支援の連携した取り組みの充実を望むが、現状をどのように把握し、支援を行っているか。</p> <p>② 子ども・子育て憲章について周知・啓発を効果的に図るとのことだが、時間をかけて丁寧に行ってほ</p>

(無所属)			<p>しい。子ども・子育て憲章に関しては、見直しを求める声も多く聞かれたが、市は子どもの権利条約の理念に沿ったものだと説明してきている。子どもたちにも子どもの権利条約の理念がわかるように広める必要があると考えるが、市の認識を伺う。</p> <p>③ 学童保育所については、放課後子ども教室との連携を進めていただきたいが、第三小学校の学校内学童保育所以外のところでも同様に進めていくのか。</p> <p>④ 施設型ショートステイ事業の概要と、これまで行ってきた養育協力員宅でのショートステイ事業との連携について伺う。</p> <p>⑤ 「日本一子育てしやすいまち」とするためには、保育環境の充実だけではなく、子育て世帯がお互いに交流し、触れ合う場が子どもの社会性を育てることからも必要だ。そこにさらに多世代との交流ができれば、なお、人間関係が広がり、子どもが豊かに育つ環境ができる。新しい生活様式により子育ての孤立化が進んだが、市内で子どもが共に育つような子育ての取り組みを行っている団体への支援を充実させることについて、考えを伺う。</p>
-------	--	--	--